

加東に暮らすヒトをインタビュー！

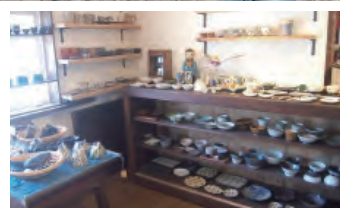
Kato Days

加東に移住された方やUターンされた方、長年加東に暮らしてきた方など、10組の方をインタビューしました。移住したきっかけや、現在のお仕事、移住希望者へのメッセージなど、加東に暮らす様々な方の「Kato Days」をお届けします。

インタビューアー
は僕たち
「兵庫県住みます芸人」
のモンスーンです！



所属：吉本興業





—自然に話しかけてくれる方ばかりで
誰も知らない土地でも働きやすい環境です—



Profile

大阪府枚方市から移住

年齢 31歳

職業 カフェ店員

※年齢は取材当時のものです。

YouTubeで
インタビューの
模様をチェック!



Q. 移住したきっかけは?

A. 両親が定年を機に田舎暮らしがしたいと加東市に移住したことがきっかけです。母親が加東市でカフェを開業するにあたり、一緒にやらないかと声をかけられました。お店をするなら家族であるのが一番理想的だと思います、私も加東市へ移住しました。



Q. 実際に暮らしてみても感じる苦労はありますか?

A. 移住当初は、電車の時間が1時間に1本、スーパーまでが自転車で20分以上かかるなど、車が必要不可欠な生活には戸惑いました。お酒を飲みに行くのも代行サービスなんて以前は考えられなかったです。今はその生活にも慣れ、車でいろんなところへ出かけています。

Q. 移住してよかったことは?

A. お店をしていると、幅広い年齢の方に来ていただきますが、みなさん良い方ばかりです。大阪で働いていた時と比べると、自然に話しかけてくれる方が多く、誰も知らない土地でも働きやすい環境だなと思います。いい意味でお客さまとの距離が近く、臨機応変に対応しないといけないところが難しくも面白いと感じています。こういったお客さまとの触れ合いが、お店を運営していく励みにもなっています。



Q. カフェ経営する上での今後の目標はありますか?

A. 野菜や果物の直売所が多いので、地元の生産者の方と繋がりを持って、地元ならではの食材を使ったものを提供していきたいと思っています。



移住希望者へのメッセージ

のんびりとした暮らしがしたいというご年配の方ももちろんですが、自然が多く大きな公園もあるので、小さなお子さんを育てていける環境がすごく整っているなと感じています。若い世代の方もぜひ移住を考えていただければと思います。

おすすめKATO

直売所や道の駅で新鮮な果物や野菜を買って食べることができるのが一番のおすすめです。特に、やしろの桃を使った桃ジャムはとても美味しいです。



店舗情報

トーストCafe
madomittsu.
まど みつつ

加東市上田294-4

080-8922-8783

8:00~16:00
※パンが無くなり次第閉店

休日・月・火曜日



Interview 2 牛飼 勇太さん Yuta Ushikai



Profile

芦屋市から移住

年齢 37歳

職業 シェアハウスオーナー

※年齢は取材当時のものです。

YouTubeで
インタビューの
模様をチェック!



—都会へのアクセスもよく、
不便しない田舎暮らしができます—

Q. 移住したきっかけは？

A. 元々神戸や芦屋でシェアハウスを運営しており、神戸から1時間圏内で運営できる物件を探していました。いろいろ探す中で加東市の物件に出会い、運営を始めることにしたのですが、私自身物件がとても気に入リ、家族で移住することにしました。

Q. 移住の際に気をつけたことは？

A. 地域の方の理解が大切だと思ったので、地域の方が集まる場で説明をさせていただきました。40代の方が間を取り持ってくれ、オープンな方も多かったのでみなさんあたたかく受け入れてくださいました。

シェアハウスの「カサゴヤ」という名前も地域の名前を使わせていただいています。



Q. 移住してよかったことや不便だと思うことは？

A. 子どもが歩き回ったりするタイミングで移住してきたのですが、家の中や庭を走りまわっており、すごくのびのびと過ごしています。生活面も、高速バスがあり大阪(梅田)まで1本で行くことができるので全く不便しません。スーパーも車で10分のところにあります。



Q. 今後「播磨CASAGOYA」でどんなことをしていきたい？

A. 裏に山があるのですが、ツリーハウスを作りたいと思っており、子どもたちが自由に遊べるように開放したいです。また、シェアハウスは基本月単位ですが、宿泊もできるよう準備をしているところなので、いろんな方が集まる場になればと思います。

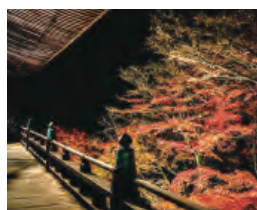


移住希望者への メッセージ

都会の楽しみも知って、田舎の楽しみも知ってという方と楽しみながら暮らしていきたいと思っています。加東市は都会へのアクセスもよく、便利な田舎暮らしという感じで楽しくやっているので私はすごくおすすめの地域です。

おすすめ KATO

心落ち着く場所として播州清水寺がおすすめです。春の桜や秋の紅葉など四季を通じて楽しめます。



シェア
ハウス
情報

播磨CASAGOYA

加東市新定1117

090-5640-9685

築100年の古民家をフルリノベーションした里山付きのシェアハウス。





—ふるさとを体感できる
場所でありたい—



Profile

神戸市から移住

年齢 68歳

職業 自営業(酒造会社)

※年齢は取材当時のものです。

YouTubeで
インタビューの
模様をチェック!



Q. 移住したきっかけは?

A. 結婚を機に加東市へ来て40年以上が経ちます。加東市に住む前は神戸市に住んでおり、加東市周辺のことはあまり知らなかったのですが、最初に来たときは辺鄙(※)な所だなと感じていました(笑)。

※辺鄙…都から遠く離れていて不便なさま



Q. 子育てをする上でよかったことは?

A. 日々の生活が自然の中にあります。私の子どもはもう独立をしています。私の小学生が夏休みになると、セミを捕りに家に遊びにきます。「地域の子」とよく言うのですが、地域みんなで我が子のように育てるといったことが自然とできる環境だと思います。

Q. 長年暮らしてみても加東市はどんなまちだと感じますか?

A. 加東市の人には人情味がありますが、だからといって古いきりぎりや習慣が少なく、みなさん開放的な性格の人が多いです。相手に何かを「してあげている」という感覚ではなく、自然な流れで「お互いさま」という言葉が生きている素晴らしいまちだと思います。



Q. (市内唯一の酒造会社として)地域にとってどんな存在でありたいですか?

A. 子どもたちには世界に羽ばたいてほしいと思っています。でも、人生の中で色々なことがあり、辛い思いをすることもあるでしょう。そんな時に酒蔵で過ごしたことやふるさとを思い出して、また勇気を持ってがんばってほしいです。この酒蔵は、子どもの頃に「ふるさととは何か」と考えるよりも体感できる場所でありたいです。



移住希望者へのメッセージ

加東市は四季折々を通じて非常に美しい自然と、それに負けないくらいの人情味が溢れる人たちが大勢住んでいます。それに加えて文化的なことも充実しています。ぜひ加東市に住んでください。絶対後悔させません!絶対楽しい思いにさせてみせます! みんなで力を合わせてこの土地で楽しい人生をおくりましょう!子育てをしましょう!

おすすめ KATO

「加東市山田錦乾杯まつり」

加東市産の山田錦を使っている全国の酒蔵が集まるイベントで、私たちも参加をしています。美味しいお酒のほかにも、加東市の名産名物の販売もあるので、ご家族で楽しんでいただけます。



店舗 情報

神結酒造 株式会社

加東市下滝野474

0795-48-3011

8:00~17:00

休 4月~10月 土・日曜日
11月~3月 日曜日

Interview 4

古跡 真一 さん

Shinichi
Koseki



Profile

神戸市から移住

年齢 47歳

職業 農業

※年齢は取材当時のものです。

YouTubeで
インタビューの
模様をチェック!



—桃は何年もかけて
1本の木をじっくり育てるのが面白いです—

Q. 移住したきっかけは?

A. 以前から農業をしたいと思っており、どこでするのが良いか考えたときに、祖父の家が加東市だったことがきっかけです。移住当初はお米や野菜を作っていましたが、知人に桃農園の後継者になってくれないかと声をかけられ、最初は迷ったのですが、やり始めたら段々と面白くなっていきました。



Q. 移住して 苦労したことは?

A. 移住して最初の頃は周りに知り合いがいなかったのが孤独に感じることもありましたが、でも、周りの農家さんが気にかけてくれたり、助けてくれたりとあたたかい人が多く、だんだんと知り合いが増えていきました。



Q. 農業の面白いところは?

A. 桃は種を植えてから実がなるまで早くても3年かかり、本格的に収穫できるのは5年目以降です。野菜は種をまいて収穫するまでに1年ですが、桃は何年もかけて1本の木をじっくり育てるのが楽しい面白く感じています。



Q. ご家族と過ごす時間は どうですか?

A. 子どもが5人います。仕事が忙しく、あまり構ってあげられる時間は作れませんでした。子どもが小さい頃はよくこの農園で遊んでいました。農園やその周辺を遊びまわっていても大丈夫という安心感がある(危険を感じない)のはこのあたりならではのですね。



移住希望者への メッセージ

のんびりと暮らしたい人におすすめです。車さえあれば買い物にも困らないし、神戸や大阪にも行きやすいです。
農業に興味のある方もぜひ一度加東市へ来てみてください!

おすすめ KATO

東条湖で開催される花火大会が好きで、毎年子どもたちと観に行っています。
花火が大きくて近いのでとてもきれいです。



農園 情報

古跡農園
こせきのうえん

加東市山国2013-167

平日 10:00~18:00

休 土・日曜日、祝日

番外編

ママの子育て

座談会 in 加東

YouTubeで
インタビューの
模様をチェック!



Interview
5
東条盛り上げ隊
のみなさん
Tojo
moriagetai

暮らしていく上で子育て環境は気になるポイントです。ママ友との交流は?子育て支援はどう?など…。

ママの先輩である東条盛り上げ隊のみなさんに、加東市の子育てについてお聞きしました!

児童館はママの輪が広がる交流の場

Q 加東市で子育てする上でよかったことは?

玉田さん 児童館ですかね。子どもが小さい頃はよく利用していました。

三隅さん 私は結婚を機に加東市に移住してきて、友達がいなかった状態からの出発だったのですが、児童館に行くようになってたくさん友達ができました。加東市の友達はほとんどが児童館で知り合いました。

谷さん 私は自然の中で子育てできることですね。家の畑で種まきから収穫までしたり、烏骨鶏を飼っているのもその卵を毎朝食べたりしています。子どもたちにとってはいい経験ができていますね。

中学3年生まで医療費が無料

Q 加東市の子育て支援で助かっているものは?

三隅さん お金のことは助かるなと思っていて、医療費の助成は子どもが小さい頃は特に助かりましたね。ほ

かにも妊婦健診の助成や子育て相談も充実しています。 ※医療費助成については所得要件あり。

神戸や大阪にお出かけしやすい!

Q 休日の過ごし方は?

谷さん 子どもたちと一緒に公園や山登りに行くことが多いです。加東市は子どもたちでも登れる山がいくつかあるので家族で楽しめます。

東谷さん 私はショッピングセンターに買い物にいくことが多いですね。加東市は神戸や大阪にも車でなら近く遊びに行きやすいですよ。

公共交通機関が充実してほしい

Q もう少しこういうものがあればいいなと思うものは?

玉田さん 大人は車があれば神戸や大阪に行きやすいのですが、もう少し本数が増えるとありがたいなと思います。

三隅さん 公共交通機関が充実するともっと住みやすくなりますね。

谷 美沙紀
さん
加東市出身
Uターン

三隅 恵都子
さん
京都府出身・結婚を
機に加東市へ

東谷 奈代子
さん
神戸市出身・結婚を
機に加東市へ

玉田 さや子
さん
小野市出身・結婚を
機に加東市へ

移住希望者へのメッセージ

〈谷さん〉子育てをするなら絶対加東市でと思い帰ってきました。子どもたちが外で虫を捕まえて泥んこになって遊んでいるのを見ると田舎でのびのびと育ってくれて嬉しいなと思っています。

〈三隅さん〉初めての土地でどう暮らしていこうか悩んだ時期もありましたが、児童館に通うようになってたくさんの友達ができました。子どもたちにとっても母親にとってもすごく良い環境で暮らしていける場所だと思います。

〈東谷さん〉便利に暮らしているためにはどうしても車が必要ですが、その分自然や公園がたくさんあり子育てには良い環境だと思います。

〈玉田さん〉自然がたくさんあるので、大阪や神戸にも行きやすい便利さもあります。子育て世代のお母さんたちもすごく優しい人が多く、困ったことがあれば相談しやすいのが良いところだと思います。

東条盛り上げ隊とは?

4人のママさんで立ち上げたグループ。
東条地域で楽しいイベントができないかと、地域の交流を目的とした「とうじょうkoiマルシェ」を開催。

Interview 6

中村 恵子 さん

Keiko
Nakamura



Profile

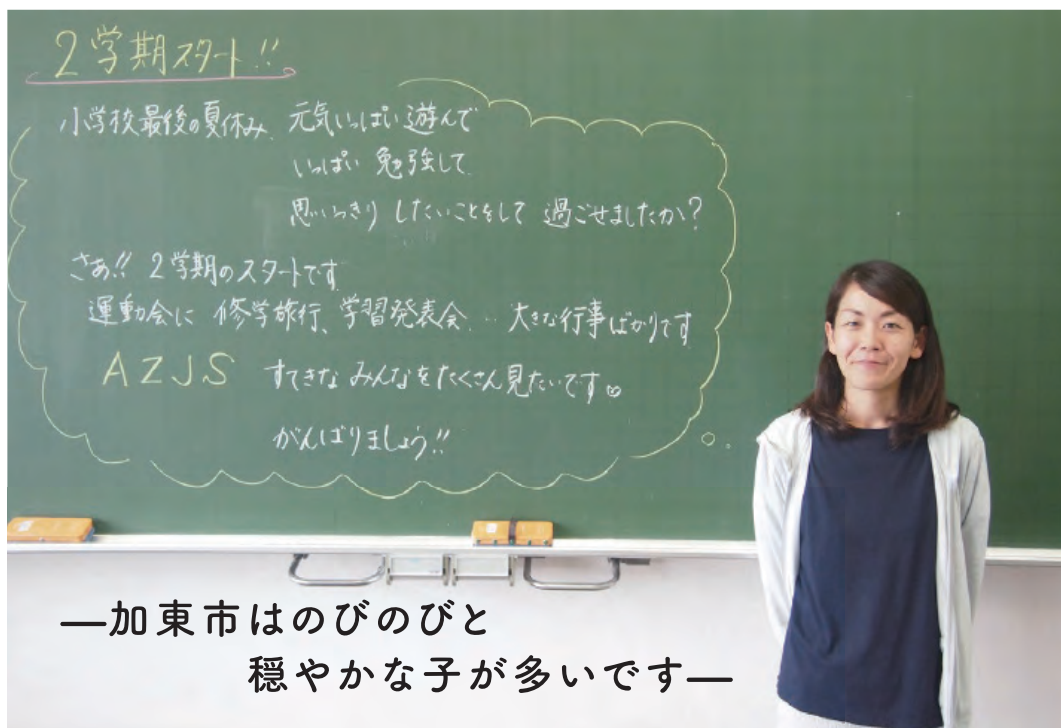
静岡県からUターン

年齢 34歳

職業 小学校教諭

※年齢は取材当時のものです。

YouTubeで
インタビューの
模様をチェック!



—加東市はのびのびと
穏やかな子が多いです—

Q. 加東市に帰ってこようと思ったきっかけは?

A. 高校までを加東市で過ごし、大学4年間で静岡で過ごしました。一人暮らしがしてみたいと思い県外へ出ましたが、地元が恋しくなりましたね。家族のありがたさにも気づき、地元で就職しようと思っていました。



Q. 子育ても奮闘中だそうですが、お子さんとの休日の過ごし方は?

A. 近所の公園によく遊びに行きます。また、私の父が田んぼ仕事をしているのですが、農作業を見るのが好きで、田んぼの周りを散歩することも多いです。最近は田植え機やトラクターなどの機械にもすっかり詳しくなりました。



Q. 加東市の子どもたちはどんな子が多いですか?

A. のびのびと穏やかな子が多いです。授業では地域の方との交流も多くて、ひょうたん作りや野菜作りを一緒にする機会もあります。地域のみなさんに見守られながら穏やかな環境で育ってくれていると感じます。

Q. 自分が育ってきた場所で子育てをするのはどう?

A. 今は実家の近くに住んでいるので、周りも昔からよく知っている方ばかりです。学生時代はアパートに住んでいて隣の人がどんな人かも分からなかったけれど、今はみんなが声をかけてくれ、とてもよくしてもらっています。あと、子どもが自分と同じ保育園に通っているというのは嬉しいです。私が当時担任をしてもらっていた先生が今は園長先生になられ、安心して預けられています。



移住希望者への メッセージ

地域の方も優しく、子どもたちはいろんな方に見守られながら育っていると思います。のびのびと子どもを育てたいと思う方や、地域との交流を楽しみたい方はぜひ加東市に移住していただければと思います。

おすすめ KATO

「花まつり鮎まつり」
ゴールデンウィークに開催される市のお祭りで、毎年家族みんなで楽しみにしています。闘竜灘では花火が打ち上げられ、ほかの地域よりも一足早く花火が楽しめます!





Profile

山形県からUターン

年齢 38歳

職業 ダンススタジオ経営

※年齢は取材当時のものです。

YouTubeで
インタビューの
模様をチェック!



Q. Uターンしたきっかけは?

A. 元々は、バレエ学校への留学やバレエ団での活動などロシアで3年過ごしました。帰国後は東京で暮らしていましたが、ご縁があり山形県でコミュニティづくりに携わる機会がありました。そこでの経験をきっかけに、地元加東市でもおもしろいことがしたいと思うようになり、戻ってくることになりました。



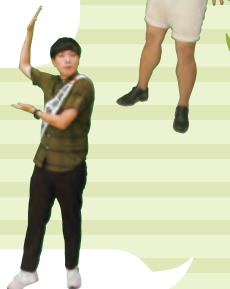
Q. Uターンしてよかったことは?

A. 暑すぎず寒すぎず穏やかな、ちょうどいい気候です。自然が豊富で温泉もあり、すごく良い場所だなと思います。



Q. 「DANCE WIZ がいいあ」をオープンした経緯は?

A. この場所は祖母が3代に渡って旅館を運営していたのですが、廃業後はしばらく空き家になっていました。空き家を使って何かできないかなと考えた時に、私のできることがヨガを教えることだったので、ヨガ教室を始めることにしました。その後マルシェやライブイベントなども行うようになり、現在に至ります。



Q. 今後の目標は?

A. 今年の夏はインドからヨガの合宿に来られたり、有名なバレエダンサーの方にワークショップをしていただいたりと、普段は都会でしか出会うことができないような方が加東市に来てくださいました。本格的なことが田舎でも味わえるということが広まればいいなと思っています。また、ここだけでなく地域の方とも交流が広がっていくことが今後の目標でもあります。

移住希望者へのメッセージ

加東市は人と人とのつながりを大切にしたい方がたくさん住んでいらっしゃる印象です。そういった点では安心して子育てができる環境だと思いますので、ぜひ加東市に移住してください。

おすすめKATO

「滝野温泉ばかば」

温泉が好きで、気軽に行ける「ばかば」をよく利用します。2種類の浴場があり、サウナや露天風呂など加東の自然とともにつろぐことができ、おすすめです。



店舗情報

DANCE WIZ がいいあ

バレエやヨガを軸としたダンススタジオ。カフェや雑貨販売のほか、ロシア語講座等も実施。

加東市河高2454

090-8191-0444

dance.wiz.gaia@gmail.com



Interview 8

松本 久美子さん

Kumiko
Matsumoto

Profile

京都府から移住

年齢 37歳

職業 燈籠団(kakomi)
アーティスト

※年齢は取材当時のものです。

YouTubeで
インタビューの
模様をチェック！



—和みと癒しを与えられるような
表現をしたい—

Q. 移住したきっかけは？

A. 結婚を機に京都市から移住しました。夫の実家が加東市で、将来的に同居をする予定だったので、加東市に住むことになりました。



Q. 移住して よかったことは？

A. 京都では聞けない鶯の鳴き声が聞けたり、桃太郎に出てくるキジを生で何度も見ることができたり、知らなかった自然に触れることができます。子どもも田んぼで走り回って、すごく楽しそうに遊んでいます。公園にわざわざ行かなくても家の前で遊べるのがいいですね。



Q. 京都市と加東市との ギャップは？

A. 京都はどこへ行くにも近く、交通の便が良いので、そういった面が全く違うなと感じました。移住当初はペーパードライバーだったので、運転も不慣れで家に引きこもっていた時期もありましたが、運転に慣れてくると色々なところに行くようになり、知り合いも増えていきましたね。



Q. 「燈籠団(kakomi)アーティスト」について教えてください。

A. 燈籠を色紙や和紙で彩る、囲みの部分の製作をしています。光の見え方によって素材やデザインを考え、和みと癒しを与えられるように表現を工夫しています。播州清水寺の千燈会では燈籠アートディレクターとして携っており、和紙や播州織など日本にあるものの良さを、世界に発信できたらいいと思っています。



移住希望者への メッセージ

私が住んでいる地域は、地域の方々との距離が近いので、人と接するのが好きな方や会話が好きな方は楽しく暮らせると思います。また、車さえあればどこへでも行ける環境なので、運転が好きな人にもおすすめです。

おすすめKATO

兵庫県立社高校の生徒さんによるチャレンジショップ「フードデザイン工房Seica」の手作りお菓子が美味しくておすすめです。クッキーやケーキなど本格的で、市内で買うことができます。



イベント 情報

播州清水寺 「千燈会」



「訪れた人々の願いが叶い、そして素敵な出会いがありますように」と願いを込め、燈籠に灯りをともす行事。松本さんの燈籠もこの千燈会で使用されています。

📍 加東市平木1194 📞 0795-45-0025

🌐 <https://kiyomizudera.net/>

—質の良い山田錦を届けたい—



Profile

加東市出身・在住

年齢 信生さん 68歳
倫生さん 33歳

職業 農業

※年齢は取材当時のものです。

YouTubeで
インタビューの
模様をチェック!



Q. 山田錦を作り始めたきっかけは？

A. 信生さん 昔から農家を営んでいたのですが、山田錦^{*}は作っていませんでした。山田錦を作り始めたのは、私がJAに勤めていた際に営農担当として、色々な農家さんと蔵元さんと出会ったことがきっかけです。当時は山田錦の生産が少なかったため、蔵元さんたちと協力してイベントを開催するなど、振興を図ってきました。

倫生さん 農業を始める前は海外のレストランで働いていました。そこでは日本食ブームということもあり、海外の方が加東市のお米を使った日本酒を飲む姿を見る機会が多く、世界に出回るお米を加東市は作っているのだと実感しました。海外から見た加東市に魅力を感じるようになり、加東市に帰ってきて農業を始めることにしました。



※山田錦…日本酒の原料となる酒米の一種。質が良く、「酒米の王者」と呼ばれる加東市の特産品。

Q. 今後の目標は？

A. 信生さん 作ったら売れる時代は終わりで、蔵元さんに求められるものを良い質で作っていきと思っています。また、地域の生産者が一丸となり、「加東市産の山田錦」として良い品質の山田錦を蔵元さんに届けたいです。息子にも技術をどんどん身につけてほしいですね。

Q. 生まれも育ちも加東市のお二人ですが、加東市のいいところは？

A. 信生さん 災害が少ないのがいいですね。農業をしていると台風に敏感になるのですが、加東市は大きな被害もなく過ごせています。

倫生さん 都会へ行くにもそれほど遠くないですし、夏には海、冬には山にも行きやすいちょうどいい田舎だなと思います。



Q. 農業をやってみてどう？

A. 倫生さん 難しいですね。大変だなと思います。料理は自分のさじ加減で思うようにできますが、農業は自然任せのところもあり、なかなか自分の思うようにいかないです。難しさを感じることも多いですが、蔵元さんと一緒に酒造りをする中で、今までよりも自分の世界が広がった点はよかったなと思っています。



移住希望者へのメッセージ

信生さん 後継者不足となるこれからは、農業を守っていく若い農業者が必要です。将来の加東市の山田錦を守ってくれるような人に来ていただくと嬉しいです。

倫生さん 加東市は静かで気候もいいですし、ちょうどいい田舎です。これから農業を頑張ろうという方も受け入れてくれる土地柄なので、農業がしたいという方は加東市に来ていただければと思います。

おすすめKATO

「東条湖」
東条湖では、バス釣りやワカサギ釣りを楽しむことができます。秋には、紅葉もきれいでおすすめの場所です。



農園
情報

田尻農園
たじりのうえん

☎ 0795-47-0488



Interview 10

田畑 司さん

Tsukasa
Tabata



Profile

神戸市から移住

年齢 52歳

職業 公務員

※年齢は取材当時のものです。

YouTubeで
インタビューの
模様をチェック!



—景色を見ているだけでも、
移住してよかったなと思います—

Q. 移住したきっかけは?

A. 元々は神戸市に住んでいましたが、2人目の子どもが生まれるタイミングで、今よりもゆったりした田舎でのびのびと子育てをしたいと思ったのがきっかけです。移住先にはいくつか候補があったのですが、加東市には以前に一度住んだことがあり、馴染みがあったことと、好きな土地柄だったこともあり、加東市に決めました。

Q. 神戸まで通勤されているようですが?

A. 毎日高速バスで神戸市まで通勤しています。周りからは大変だねと言われるのですが、1時間程で着きますし、座ることができるので、本を読んだり映画を見たりと快適に通勤しています。高速バスは神戸だけでなく、大阪・京都・USJ※へも直行で行くことができるので、遊びに行くにも便利です。

※ユニバーサル・スタジオ・ジャパン



Q. 移住してよかったことは?

A. 日が長くなると、帰宅時に夕焼け空がよく見えるのですが、加東市は夕焼けがとても綺麗です。田んぼもよく手入れされており、風が吹くと稲が揺らぐ風景がとても綺麗です。そんな景色を見ているだけでも加東市に移住してよかったなと思いますね。



Q. 休日の過ごし方は?

A. ランニングが趣味で家の近くを走るのですが、景色がきれいなので走っていて気持ちいいです。加東市の田んぼは酒米が多いので、育っていく稲を見ながら今年もおいしいお酒になるのかなと観察しています。それ以外にも、川沿いには桜並木があり、季節によって色々楽しめます。加東市ならではの景色の中で走るのがいいですね。

移住希望者への メッセージ

都会にお勤めで、田舎暮らしに憧れている方におすすめです。
神戸や大阪でも十分に通勤できるので、田舎でのんびりとした暮らしを楽しむならぜひ加東市にお越しください。

おすすめKATO

加東市は平たんな道が多く、景色もきれいなのでサイクリングがおすすめです。
観光協会ではロードバイクのレンタルも行っており、家族で気軽に楽しむことができます。





お問い合わせ先

加東市定住・移住総合相談窓口
(加東市まちづくり創造課)

〒673-1493 兵庫県加東市社50番地
TEL:0795-43-0507 FAX:0795-42-5633

加東市定住・移住情報サイト
「かとうとかどう?」

